

2022年11月20日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒26番（旧164番）（SK姉）

『いざやもろともに』

聖書⇒マタイによる福音書 11:25~30節（MM姉）

『そのとき、イエスはこう言われた。「天地の主である父よ、あなたをほめたたえます。これらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、幼子のような者にお示しになりました。そうです、父よ、これは御心に適うことでした。すべてのことは、父からわたしに任せられています。父のほかに子を知る者はなく、子と、子が示そうと思う者のほかには、父を知る者はいません。疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。』

礼拝讃美歌⇒435番（旧124番）

『聞かずやイエスの』

礼拝讃美歌⇒274番（旧302番）（YA姉）

『御国に住まいを』

聖書⇒哀歌 3:28~33節（SK兄）

『軛を負わされたなら／黙して、独り座っているがよい。
塵に口をつけよ、望みが見いだせるかもしれない。
打つ者に頬を向けよ／十分に懲らしめを味わえ。
主は、決して／あなたをいつまでも捨て置かれはしない。
主の慈しみは深く／懲らしめても、また憐れんでくださる。
人の子らを苦しめ悩ますことがあっても／それが御心なのではない。』

（祈）

《パン裂き》

聖書⇒ヨハネによる福音書 6:53~58節（KH兄）

『イエスは言われた。「はっきり言っておく。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたたちの内に

命はない。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を得、わたしはその人を終わりの日に復活させる。わたしの肉はまことの食べ物、わたしの血はまことの飲み物だからである。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、いつもわたしの内におり、わたしもまたいつもその人の内にいる。生きておられる父がわたしをお遣わしになり、またわたしが父によって生きるように、わたしを食べる者もわたしによって生きる。これは天から降って来たパンである。先祖が食べたのに死んでしまったようなものとは違う。このパンを食べる者は永遠に生きる。』

(式)

礼拝讃美歌⇒150番 (旧 63番曲)

『冠受けて』

《建徳》

聖書⇒創世記 22:3~6節 (KH兄)

『次の朝早く、アブラハムはろばに鞍を置き、献げ物に用いる薪を割り、二人の若者と息子イサクを連れ、神の命じられた所に向かって行った。三日目になって、アブラハムが目を凝らすと、遠くにその場所が見えたので、アブラハムは若者に言った。「お前たちは、ろばと一緒にここで待っていてください。わたしと息子はあそこへ行って、礼拝をして、また戻ってくる。」アブラハムは、焼き尽くす献げ物に用いる薪を取って、息子イサクに背負わせ、自分は火と刃物を手に持った。二人は一緒に歩いて行った。』

聖書⇒ヘブライ人への手紙 13:15節

『だから、イエスを通して賛美のいけにえ、すなわち御名をたたえる唇の実を、絶えず神に献げましょう。』

聖書⇒ローマの信徒への手紙 12:1節

『こういうわけで、兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。』

聖書⇒ネヘミヤ記 7:1a節 (SK兄)

『城壁が築かれたので、わたしは扉を取り付けさせた。』

聖書⇒ネヘミヤ記 8:1~3節

『民は皆、水の門の前にある広場に集まって一人の人のようになった。彼らは書記官エズラに主がイスラエルに授けられたモーセの律法の書を持って来るように求めた。祭司エズラは律法を会衆の前に持って来た。そこには、男も女も、聞いて理解することのできる年齢に達した者は皆いた。第七の月の一日のことであった。彼は水の門の前にある広場に居並ぶ男女、理解することのできる年齢に達した者に向かって、夜明けから正午までそれを読み上げた。民は皆、その律法の書に耳を傾けた。』

聖書⇒ネヘミヤ記 8:8~9 節

『彼らは神の律法の書を翻訳し、意味を明らかにしながら読み上げたので、人々はその朗読を理解した。総督ネヘミヤと、祭司であり書記官であるエズラは、律法の説明に当たったレビ人と共に、民全員に言った。「今日は、あなたたちの神、主にささげられた聖なる日だ。嘆いたり、泣いたりしてはならない。」民は皆、律法の言葉を聞いて泣いていた。』

聖書⇒エレミヤ書 15:16 節

『あなたの御言葉が見いだされたとき／わたしはそれをむさぼり食べました。
あなたの御言葉は、わたしのものとなり／わたしの心は喜び躍りました。
万軍の神、主よ。わたしはあなたの御名をもって／呼ばれている者です。』

礼拝讃美歌⇒281 番（旧 110 番）（KH 兄）

『御顔拝し』

《建徳要旨》